

若手研究者コラムリレー

片桐 夏海（かたぎり なつみ）



プロフィール

IPU・環太平洋大学 体育学部体育学科 助教
女子柔道部コーチ
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 体育社会学

山形県出身
IPU・環太平洋大学 体育学部体育学科 卒業
コマツ 開発本部(実業団チーム所属)
岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻 修士課程 修了
2017年より現職

E-mail: taiiku_taro@taiiku.co.jp



わたしの研究



現代のコーチが直面する感情管理の課題について

私は幼い頃から柔道を始め、大学時代には競技を通じて自己の内面が変化する体験に深く魅了されました。柔道における自己成長の可能性と精神的な奥深さは、私の研究への興味の本質を形作っています。

実業団で選手として過ごした期間は、私の視野を広げる重要な時期でした。チームメイトとしてトップクラスの選手たちと出会い、新たな技術やトレーニング方法、競技に対する多様な考え方に触れることができました。

私は現在、母校の大学柔道部のコーチも務めています。コーチになったばかりの頃は、私にとって恩師であり偉大な存在である故賀稔彦総監督、矢野監督の下で共に過ごすことになりました。同じ立場で一緒に仕事をするのは、私にとって大きな挑戦であることを覚悟しながらも、その頃の私は、自分の役割を見つけることに苦戦し、ただ病んでいくほどの状況になってしまったのです。

しかし、この時期は大学院での学びが私に新たな視点をもたらし、自己の過去、現在、そして未来を新しい角度から見つめ直す機会となりました。そのため、今ではコロナ禍を経験した選手たちの苦悩も前向きに捉え、試行錯誤しながらも共に過ごす日々を魅了されています。

現在の私の研究は、柔道指導における感情の管理に焦点を置いています。特に、指導者が選手との関係を築く過程で、どのように感情を扱い、調整するかについて探求しています。柔道を通じて得た学びと指導者としての経験は、私の研究の基盤となっています。

わたしの渾身の論文・書籍・記事



環太平洋大学体育学部(2023)『体育授業のリスクマネジメント実践ハンドブック』, 大修館書店。

(なんでも帳)



日本発祥のスポーツでありながら、柔道人口は減少傾向にあります。地域の中高生の大会出場数などからも、現状を痛感させられます。

在籍する大学がある岡山県においても、女子柔道の豊かな歴史を持つ地域ですが、現在女子柔道人口の減少という課題に直面しています。この問題に取り組むため、岡山県柔道連盟の女子柔道振興委員会が中心となり、私たちは様々な活動を展開しています。

その一つに、女子柔道の魅力を広めるための様々なイベントを実施しています。例えば、ベンガラ染めと柔道を融合させたイベントの実施は、伝統と多様性を象徴することで、参加のきっかけを創出し、柔道の楽しさに触れる機会を生み出す新しい試みとなりました。

これらの活動を通じて、柔道のネガティブなイメージを変え、柔道をもっと身近なスポーツとして感じてもらうことも重要であると感じています。

新たな視点で柔道の魅力を捉え直したうえで再発信し、次世代に向けて、これらの取り組みを通じて、まずは岡山県の女子柔道の活性化に貢献していきたいと考えています。



日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→ メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com

